

甲突川左岸・下荒田地区低地区ハザードマップ

鹿児島市では、平成16年、17年に年間で最も潮位が高くなる時期の大潮の満潮時に、大型の台風により潮位が通常より上昇し、鹿児島市の公共下水道基準の潮位を上回る高潮が生じたこと、さらに降雨が重なったことにより、地盤が低い地区を中心に大規模な浸水被害が発生しました。このたび、同様の高潮時に公共下水道基準の雨が降った場合に発生する浸水想定区域などを示した『低地区ハザードマップ』を作成しました。自分の住んでいる場所がどの程度浸水するおそれがあるのか、この『低地区ハザードマップ』を利用することにより把握していただき、もしもの時の役割や連絡方法などについて、日頃からよく話し合っておきましょう。

○このマップは、公共下水道基準を上回る潮位（TP+2.47m）において、公共下水道基準の雨（時間雨量66mm/h）が降った場合を想定したものです。
※TPとは標高、すなわち海面からの高さを表す場合の基準面のことです。

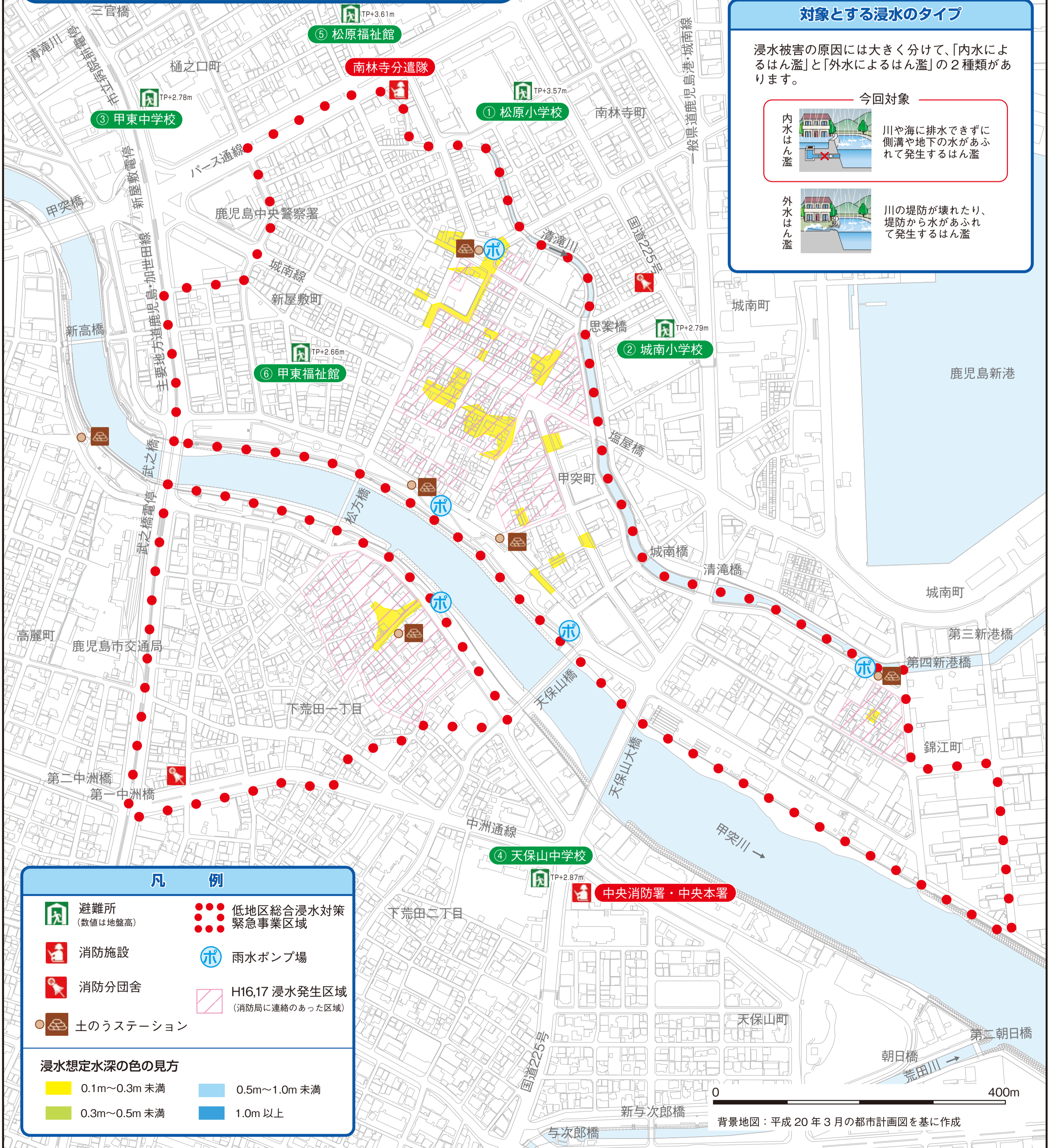
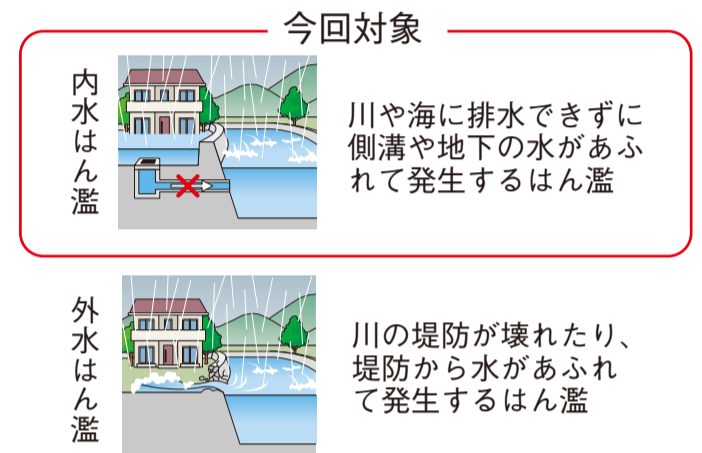
◇低地区ハザードマップに関するお問い合わせ
鹿児島市水道局 雨水整備室 tel:099-803-8772

避難勧告等の伝達経路



対象とする浸水のタイプ

浸水被害の原因には大きく分けて、「内水によるはん濇」と「外水によるはん濇」の2種類があります。



凡例

- 避難所 (数値は地盤高)
 - 消防施設
 - 消防分団舎
 - 土のうステーション
 - 低地区総合浸水対策緊急事業区域
 - 雨水ポンプ場
 - H16,17 浸水発生区域 (消防局に連絡のあった区域)
- 浸水想定水深の色の見方
- | | |
|--------------|--------------|
| 0.1m~0.3m 未満 | 0.5m~1.0m 未満 |
| 0.3m~0.5m 未満 | 1.0m 以上 |

背景地図：平成20年3月の都市計画図を基に作成